

くっつき(42時間目)

学習のめあて

二単語文、三単語文を分解して、その代表形でとりだしたり、二単語や三単語から文を組み立てたりする作業をおこなう。そして、そのことをとおして、単語を文でくみたてるときには、単語のうしろに「くっつき」をつけなければならないことをはっきりと意識する。

授業

T (絵を提示し、その下に図のように板書する。)この文はいくつのことばでできていますか。



つばめが とぶ。
つばめ とぶ。

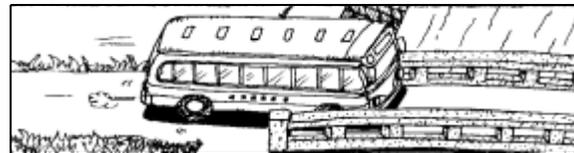
・ふたつです。つばめ と とぶ です。

T そうです。つばめ と とぶ のふたつです。(さきにかいた文のしたに、つばめ、とぶ と板書する。)

・どうして が がなくなるの。

T いい質問だね、あとで考えよう。

(まえの文と同様に絵をはって)では、次の文はいくつのことばでできていますか。



ばすが はしを わたる。
ばす はし わたる。

・みっつ

T なんということばですか。

・ばすが はしを わたる。

T そうです。ばす はし わたる です。代表形でいってみせる。

T では次の文は、

・よっつです。

T なんということばか、みんなでいってみましょう。

・まさお こっぴ みず のむ。

T 田中くん、さっきいったことをもう一度いってください。



(田中くんは上の図の板書を取り上げて)

・文のときは が とか を とかがつくのに、どうしてこっちはつかないのですか。

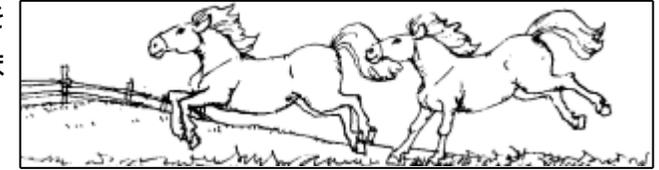
T どうしてかな。

・文をかくときは、 が とか を とか、くっつきがつくから。

・文をつけるときにはくっつきをつけるからです。

T そうですね。文をつくるときには、ことばのうしろにくっつきをつけるのですね。

T (うまの絵を提示して)この絵をみてください。うまがどうしていますか。



・うまがはしっている。

T このことについて文をつくるとき、うま はしる でいいですか。

・だめです。

T どうしてですか。

・かっこわるい。うまが はしる ならいいけど。

・いいにくい。

・うま はしる じゃ、きいたひとがわらっちゃう。

T うま はしる ではへんですね。文をつくるときには、うま ということばのうしろに が というくっつきをつけなければいけないんだね。

T(絵を提示し、そのしたに まさお だんご たべる とカードを提示しておく。)くっつきというのは、ことばのうしろにくっつくものです。このことばにくっつきをつけて、まさおについて文をつくってください。



・やりたい。

T カードにくっつきの字をかいて、ことばにくっつけてください。

(下のように文をつくることのできた。同様におじさんについても文づくりをした。)

まさおが だんごを たべる。



文字指導まえの段階からおこなってきた文の分解やくみたての学習のつみかさねが、この段階になって、はっきりと効果をあらわしてくる。文から単語をとりだすときには、代表形のかたちでとりだすことや、単語から文をくみたてるときは、単語にくっつきをつけることを、経験的にはあるが、よく理解ができるようになっている。

このあと二時間をかけて、くっつきには が を に で は への種類があることを知らせ、そのつかいかたを勉強する。それぞれ格の、具体的な意味については、ふかいらしくなくてよい。